

新型転換炉ふげん発電所の原子炉手動停止について
(第17回定期検査の調整運転準備中)

このことについて、核燃料サイクル開発機構から下記のとおり連絡を受けた。

記

新型転換炉ふげん発電所（新型転換炉；定格出力16.5万kW）は、平成14年1月7日より第17回定期検査を実施しているが、定期検査の最終段階である調整運転の開始に向けて、4月8日6時に原子炉起動、8時22分に臨界とした。その後、4月8日21時12分に原子炉出力を定格熱出力の21%とし、22時45分にタービンを起動したが、23時頃タービンの衛帯蒸気*1（グラント）蒸気入口圧力計検出配管の継手部から微量の蒸気漏えいを発見した。

このため、原子炉を停止し、当該箇所の点検・補修を行うこととし、4月8日23時10分にタービンを停止し、4月9日0時45分から原子炉の出力降下を開始するとともに、1時55分頃に衛帯蒸気の供給源を主蒸気から補助蒸気*2に切り替えた。その後、5時4分に原子炉を停止した。

今回の事象による環境への放射能の影響はない。

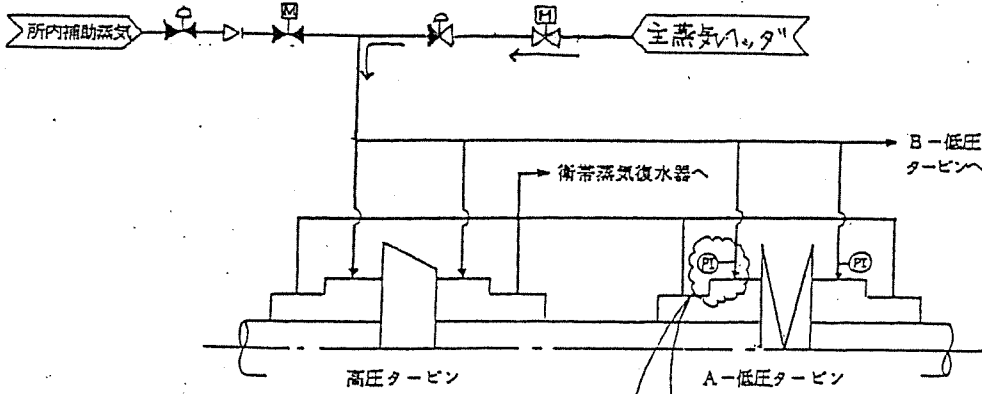
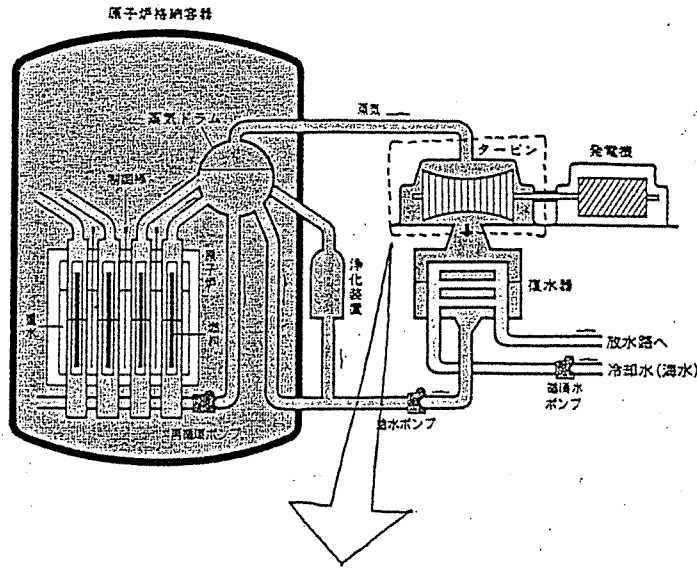
*1：タービン内部からの蒸気吹き出しや外気の吸込みを防ぐため、タービン軸封部に供給している蒸気。ふげん発電所では、この蒸気に主蒸気を使用しているが、主蒸気圧力が低い場合において（7kg/cm²以下）、補助蒸気に切り替える運用としている。

*2：発電所の補機や暖房用に供給されている石油ボイラーから供給される蒸気。

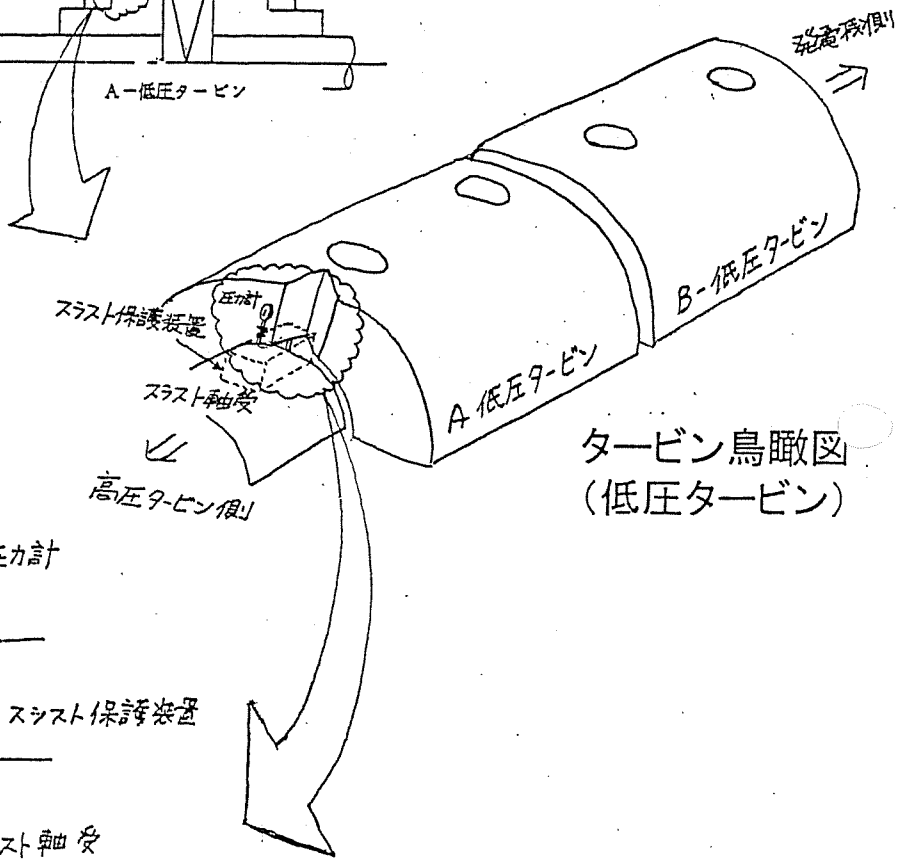
（経済産業省によるINESの暫定評価尺度）

基準1	基準2	基準3	評価レベル
—	—	—	評価対象外

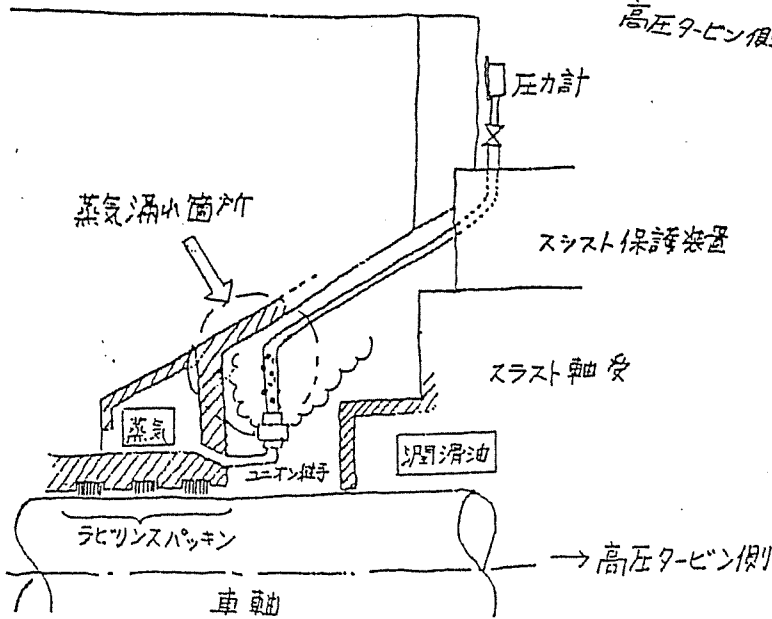
ふげん発電所の系統概要図



タービン衛帯蒸気系統概要図 (タービン軸封系)



タービン鳥瞰図
(低圧タービン)



漏れ箇所図